

令和6年度 小樽市立忍路中学校 学力向上改善プラン

1 生徒の実態

令和5年度全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果から明らかになった課題は以下の通りである。

国語は学期末確認テスト、チャレンジテストの正答率は61%であり、目標値に達することができなかった。不登校傾向の生徒が多い本校の課題として、前年度の学習内容が定着せず、当該年度の学習をすすめる必要があることから、日頃の授業の中で前年度の学習内容も併せて指導している。

数学は学期末確認テスト、チャレンジテストの正答率は40%であり、目標値に達することができなかった。国語と同様に、前年度の学習内容が定着せず、当該年度の学習をすすめる必要があることから授業内容の振り返りとして、デジタルドリルを活用し、生徒個別の進捗状況を確認している。

家庭学習や生活習慣については、学校評価生徒アンケートでは毎日の家庭学習に取り組む生徒は13%、規則正しい生活をしている生徒は88%であった。家庭学習の定着と生活習慣の改善を進めるために長期休業明けの生活リズムチェックを夏冬に実施し、家庭学習に取り組む生徒が72%となり、学習習慣の意識付けをすることができた。

2 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・ほっかいどうチャレンジテスト2学期末問題正答率60%（R5：50%） ・誤答の解き直しに取り組む生徒100%。
2年	・ほっかいどうチャレンジテスト2学期末問題正答率40%（R5：33%） ・誤答の解き直しに取り組む生徒100%。
3年	・ほっかいどうチャレンジテスト2学期末問題正答率50%（R5：40%） ・誤答の解き直しに取り組む生徒100%。

<数学科>

学年	定着目標
1年	・ほっかいどうチャレンジテスト2学期末問題正答率60%（R5：53%） ・誤答の解き直しに取り組む生徒100%。
2年	・ほっかいどうチャレンジテスト2学期末問題正答率40%（R5：13%） ・誤答の解き直しに取り組む生徒100%。
3年	・ほっかいどうチャレンジテスト2学期末問題正答率60%（R5：53%） ・誤答の解き直しに取り組む生徒100%。

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・市教委調査「クロームブックの利活用に関する調査」でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う生徒の割合90%。（R5：75%） ・生徒学校評価で週に4・5日以上家庭学習をしている生徒の割合60%。（R5冬季：51%） ・生活リズムチェックで家庭学習時間1時間以上と答える生徒の割合40%（R5：25%）
2年	
3年	

3 目標を達成するための具体的な方策

（1）基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①放課後・長期休業中のサポート学習の充実
- ②朝読書・朝学習実施
- ③チャレンジテストの実施
- ④学期毎の確認テストと誤答への取組
- ⑤クロームブックの週末課題への取組

（2）確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①各種研修会への参加と環流
- ②校内研修の充実、研究授業の実施と検証
- ③小樽授業づくりの5つのSTEP!!を踏まえた授業改善

（3）家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①学習習慣や生活習慣をコーディネートする力を向上させるための生活リズムチェックシートの活用
- ②学校評価アンケートによる実態把握と指導改善

4 実施計画

年月日	計画内容	
R6年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・チャレンジテストの実施（前年度復習版） ・学び方の指導充実 ○R6全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 ○標準学力調査実施（第2学年） ・朝読書・朝学習の実施(通年) ・放課後サポート学習の実施(通年) ・保護者懇談、家庭訪問による家庭学習や生活リズムについての把握とアドバイス ・学力向上改善プランの見直し ○標準学力調査結果分析 ・学校評価の実施 ・学校評価の分析と改善策の検討 ・長期休業中のサポート学習の実施 ・1学期「確認テスト」の実施 ・チャレンジテスト（1学期末問題）の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 	
4月		
5月		
7月		
8月		<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の分析と改善策の検討 ・放課後サポート学習の実施(通年) ○R6全国学力・学習状況結果分析
9月		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者へ調査結果の説明 ○学力向上プランの評価・改善
10月 12月		<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・学校評価の実施 ・学校評価の分析と改善策の検討 ・チャレンジテスト（2学期末問題）の実施 ・長期休業中のサポート学習の実施 ・2学期「確認テスト」の実施
R7年	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後サポート学習の実施(通年) ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・3学期「確認テスト」の実施 ○新学力向上改善プランの作成 	
1月 3月		

5 評価方法

（1）基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①定期テスト及びチャレンジテスト、各学期確認テストの結果の分析
- ②全国学力・学習状況調査、標準学力調査の結果の分析

（2）授業改善を図る研修の取組

- ①公開研究会による研究授業の実施と検証
- ②小中併置校の利点を生かし、小中共同で取り組む教育活動を企画し、実践する。

（3）望ましい学習習慣・生活習慣を形成する取組

- ①生徒、保護者アンケート等による把握
- ②生活リズムチェックシートの定期的な見取りによるアドバイス